

ひんし 品詞	ご もの語	そんけいご 尊敬語	げんだいごやく 現代語訳	けんじょうご 謙讓語	げんだいごやく 現代語訳	ていねいご 丁寧語	げんだいごやく 現代語訳	
どうし 動詞	ほんどうし 本動詞	あた 与ふ	たまふ = 給ふ・賜ふ たぶ = 給ふ・賜ふ たまはず = 給はず・賜はず	くださる お与えになる	たてまつる = 奉る まゐる = 参る まゐらず = 参らず	さしあげる		
		あり をり	います いますがり おはす おはします	いらっしゃる おいでになる			はべり = 侍り さぶらふ = 候ふ さうらふ = 候ふ	あります おります ございます
		い 行く 来	おはす おはします	いらっしゃる おいでになる	まゐる = 参る まうづ = 詣づ まかる = 罷る まかづ = 罷づ	まゐ 参る ばんじょう 参上する まゐ 参る だいにしゅつ 退出する		
		い 言ふ	おほす = 仰す のたまふ = 宣ふ のたまはず = 宣はず	おっしゃる	きこゆ = 聞こゆ きこえさす = 聞こえさす まうす = 申す そうす = 奏す けいす = 啓す	もう あ 申し上げる てんのう じょうこう (天皇・上皇に) もう あ 申し上げる きさき こうたいし (后・皇太子に) もう あ 申し上げる		
		う 受く			たまはる = 給はる・賜はる	いただく		
		おも 思ふ	おもほす = 思ほす おぼす = 思す おぼしめす = 思しめす	おもう お思いになる	ぞんず = 存ず	ぞん 存ずる		
		き 聞く	きこす = 聞こす きこしめす = 聞こしめす	き お聞きになる	うけたまはる = 承る	き お聞きする しょうたく 承諾する		
		き 着る 乗る	めす まゐる たてまつる	め お召しになる の お乗りになる				
		く 食ふ 飲む	めす まゐる たてまつる きこしめす	め あ 召し上がる				
		す	あそばす	なさる	まゐる = 参る つかうまつる = 仕うまつる	してさしあげる		
		つか 仕ふ			はべり = 侍り さぶらふ = 候ふ つかうまつる = 仕うまつる	そば ひか お側に控える しこう 伺候する つか お仕える		
		ね 寝 寝ぬ	おほとのごもる = 大殿籠もる	やす お寝みになる しゆしん 就寝なさる				
		み 見る	ごらんず = 御覧ず	ごらん 御覧になる				
		よ 呼ぶ	めす = 召す	よ お呼びになる				
ほじょ 補助 動詞	…たまふ = 給ふ(四段) …たぶ = 給ふ …おはす …おはします	…なさる お…になる	…たまふ = 給ふ(下二段) …きこゆ = 聞こゆ …たてまつる = 奉る …まうす = 申す …まゐらず = 参らず	…ております …申し上げる お…する	…はべり = 侍り …さぶらふ = 候ふ …さうらふ = 候ふ	…です …ます …ございます		
	る・らる す・さす しむ	…なさる お…になる						

※ このほか、特別な名詞や接頭語、接尾語で尊敬や謙讓の意を表すこともある。(例: 行幸、御髪、御心、母上、それがし、手前、拙者)

※ 助動詞「す・さす」は、平安時代以降単独で用いられる場合は必ず使役の意である。後に「給ふ」など尊敬の補助動詞が付いて「…せ給ふ」「…させ給ふ」などとなっている場合は、「使役+尊敬」のケースもあるが、「尊敬+尊敬」で二重尊敬となり、程度の高い尊敬の意を表すことが多い。